

令和5年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	家庭・被服	単位数	2単位	対象学年・組	3年A～F組 選択者X・Y
教科書 使用教材	なし	教科担任			

1. 目標

- ①被服製作の基礎・構成技法・被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得する。
- ②長着の製作を通して、平面構成について理解し、日本の文化を知る。
- ③実習を通し、創意工夫やアイデアを生かし、生活を楽しめる態度を養う。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期		指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	4月	オリエンテーション	人と衣服の関係について理解する	人と衣服の関係に触れ、TPOに合わせた着こなしがあることに気付かせる。基本的な手縫いの技法を習得する。	2
		基礎縫い1	手縫いの基礎を習得する。		2
	5月	基礎縫い2	ミシンの使い方の習得。	ミシンを利用して簡単な小物を作りミシンの使い方を習得する。端ミシン、三つ折り、返し縫などの基本的技法を学習する。和服と洋服の違いについて比較し、日本の文化を理解する。	4
		和服の構成	和服の基礎、甚平の製作		2
		和服の構成	甚平の製作(裁断・下衣の製作)	和服の構成について理解し、効率的に縫製できるようにする。安全に配慮し実習を行う	10
7月	和服の構成	甚平の製作(下衣の完成)	ミシン、手縫いを合わせ、安全に配慮し実習を行う。	6	
2 学期	9月	和服の構成	甚平の製作(上衣の製作)	和服の構成について理解し、効率的に縫製できるようにする。安全に配慮し実習を行う	8
	10月	和服の構成	甚平の製作(上衣の製作)		8
	11月	和服の構成	甚平の製作(上衣の完成)	上衣の完成を目指す。	4
		自由課題製作	各自で選択した小物を製作する	刺繍、編み物など服飾手芸による作品を選び製作させる。安全に配慮し実習を行う。	6
12月	自由課題製作	各自で選択した小物を製作する		4	
3 学期	1月	自由課題製作	各自で選択した小物を製作する。作品の完成。	小物製作を通して刺繍、編物等の技術を身につけられるようにする。	6
	2月				6
	3月				4
計					70

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

- ①実習中心の授業となるため、積極的に取り組むこと
- ②安全に配慮し、協力し合って作業を進めること
- ③目標を立て計画的に作業を進めること

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

関心・意欲・態度・・・準備を怠ることなく積極的に参加しているか□

思考・判断・・・着用目的に合った被服材料や構成技法などについて考えているか

技能・表現・・・縫製技術を習得し、目的に沿って計画的に進めているか

知識・理解・・・被服構成・技法・材料について基礎的な内容を理解しているか

上記について、作品の進捗状況や完成度、レポート等にて総合的に判断し評価を行う。